



特集

もしもに備える 自然災害から 命を守る。

台

風第19号は昨年、甚大な被害を引き起こし、県内各地で今も復旧・復興作業が続けられています。

豪雨災害は、気候変動などにより全国各地で発生しており、岡谷市も、14年前に平成18年7月豪雨災害を経験しました。

また、市内には活断層があり、今後30年の間に大きな地震が起こる可能性も比較的高いとされています。

暴風、竜巻、雷などを含め災害は、いつでも、どこでも発生する可能性があります。いざというとき正しい情報を得て、適切な行動ができるよう、ふだんから準備をしておくことが有効です。

今月は、将来、岡谷市で起こる可能性が高く、被害も大きくなると想定されている自然災害への備えについて、いっしょに考えてみませんか？

平成18年7月豪雨災害 本沢川土石流災害現場(鮎沢区)
岡谷市民新聞社提供



想定する

地震、豪雨…

自分の周囲は
どうなる？

近年、地震や豪雨災害が相次ぎ、改めて注目されているのがハザードマップです。今月号の「広報おかや」と同時配布の「岡谷市防災ガイド（改訂版）」にはハザードマップも載っていますので、自宅や職場など周辺に、どのような危険性があるのか確認しましょう。



平成26年11月 神城断層地震のようす(2枚とも)
(長野県神城断層地震 災害記録集「記憶をつなぐ 未来につなぐ」より)

地震

建物倒壊、液状化現象、火事…

地震名	地震規模 (M)	岡谷市 最大震度	今後30年以内の地震発生確率
糸魚川-静岡構造線断層帯の地震	全体	8.5	13%~30%
	北側	8.0	
	南側	7.9	
		7	

想定される今後30年以内の地震発生確率は13%~30%!

東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震など、全国で大規模な地震が次々と発生しています。県内でも、平成26年に長野県神城断層地震が起きました。

岡谷市も糸魚川-静岡構造線断層帯地震や南海トラフ地震により、「南海トラフ地震防災対策推進地域」の指定を受けていて、**震度5強から7**の強い揺れが予想されています。

ハザードマップでは、糸魚川-静岡構造線断層帯を震源として想定した場合の全壊率（地域の建物のなかで全壊する建物の割合）の分布などが示されています。

豪雨災害

河川の決壊・氾濫、浸水、土砂災害…

昨年10月の台風第19号によって、全国各地で河川の決壊・氾濫、家屋の浸水などの被害が発生しました。岡谷市では平成18年に豪雨災害の被害を受けましたが、当時のことを思い出した人も多かったのではないのでしょうか。このような規模の災害は、今後も起こる可能性があります。

ハザードマップでは、想定しうる最大規模の降雨が各河川にあった場合の浸水想定、氾濫想定が示されています。また、土砂災害特別警戒区域なども示されています。



平成18年7月豪雨災害 小田井沢土石流災害現場 (花岡区)

自らの身は 自ら守る

準備する

- ◆非常食、保存水の備蓄
- ◆衛生用品や日用品の備蓄
- ◆お年寄りなどのための介護用品や薬、乳幼児のためのミルクやおむつなど、個々の必要品の備蓄

(「防災ガイド」に例が載っていますので、参考にしてください)

災害発生からの3日間は人命救助が最優先です。3日間(72時間)を超えると生存率が激減します。支援物資が届き始めるのは、そのあとになることも多く、また、電気などのライフラインの復旧にも時間がかかる場合があります。

この3日間を自力で乗り越えられるように準備しましょう(推奨は7日間分の備蓄)。



非常用持出袋・ 備蓄品の準備

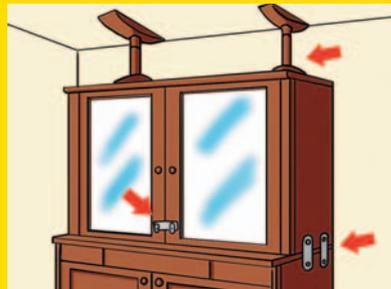
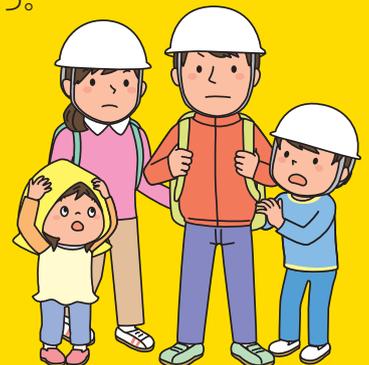


安全対策

安否確認・ 避難経路の 確認

- ◆災害時の安否確認の方法や伝達手段の確保(災害用伝言ダイヤル「171」など)

- ◆避難経路の確認や集合場所の確認
避難経路にある障害や危険物となりうるものも確認しましょう。



- ◆家具の固定や、配置を工夫する
- ◆家の中に安全なスペースを確保する
- ◆耐震診断・耐震改修など

先延ばしにせず、対策を行いましょう。

公的な支援、地域住民の助け合いがあるとしても、自分で自分の身を守ることが命を守る基本になります。また、各自が「自助」を行うことで、地域全体の防災・減災力も底上げされます。自分自身や家族の命を守るために災害に対する知識を深め、身の回りの対策をして、防災・減災に取り組みましょう。

協
力
す
る

避難時には

地域での協力が不可欠

災害発生直後の救助活動や避難の際には、ご近所の力が重要になります。なるべく一人ではなく周りの人と声を掛け合い、危険を回避しながら助け合いましょう。「互助」また、防災訓練に参加するなど、シミュレーションをしておくことで安心です。「共助」

向こう三軒両隣 自発的に助け合う

日常的に声をかけ合うなどの関係性があると、非常時のスムーズな助け合いにつながります。ふだんから顔の見える関係づくりを心がけましょう。



防災訓練への積極的な参加

実際に災害が起こった場合、避難誘導や避難所の運営は、自主防災組織(岡谷市では区ごとに結成)が中心となって行います。素早く落ち着いて避難し、避難所でも混乱せず、それぞれの役割を果たせるよう、9月などに各区で行われる防災訓練に参加してみましょう。避難場所を確認したり、防災・減災活動に取り組む経験は、いざというとき効果を発揮します。



昨年の防災訓練のようす
(岡下区)

避難行動要支援者登録制度を知っていますか？

「避難行動要支援者登録制度」とは、避難するときに支援が必要な人を登録する制度です。要介護度3以上の人など登録の対象者には市から案内文を送りますが、一人暮らしの高齢者など一人での避難に不安を抱えている人も、希望により登録することができます。

また、登録された人については、避難を支援する地域住民(区、民生児童委員、地区社協など)や消防、警察で情報が共有され、連携して支援する体制づくりに活用されます。

一人での避難が不安な人、助けが必要な人は、登録をしましょう。
問合せ…社会福祉課(内線1251)



家庭で防災会議をやってみよう



家族などで話し合い、確認することが大切です。下の各項目に書き込んでみましょう。

◎ わが家がある場所はどうなところ？ 危険なところは？

◎ 家のなかの危険な場所は？ 安全な場所は？

◎ 近くの避難所は？ 避難場所はどこ？

◎ 家族バラバラのときに災害が発生したら、どこへ集合する？

◎ どうやって家族と連絡を取り合う？

◎ 停電への対策は？ なにを準備しますか？

◎ 断水への対策は？ なにを準備しますか？

◎ 隣近所に要配慮者はいますか？



防災ラジオ

防災行政無線放送は、市からの重要な情報を市民のみなさんにお伝えする放送です。屋外での放送が家のなかにおいて聞き取りにくい人は、ぜひ防災ラジオをご利用ください。災害時の非常持出品としても活用できます。

価格…1台1,000円

メール配信@おかや

岡谷市では、防災行政無線情報、気象情報、地震情報などを携帯電話やパソコンに配信しています。市外在住の人や市外滞在中でも利用できますので、ぜひご登録ください。

登録はこちらから→



防災・減災への取り組みに活用しましょう！



岡谷市防災ガイド

2月に防災ガイドをリニューアルしました。身近な災害の危険性を確認したり、被害を最小限にするための準備をするなど、家族や地域で防災・減災の知識を深めるためにお役立てください。

問合せ ● 危機管理室 (内線1592)